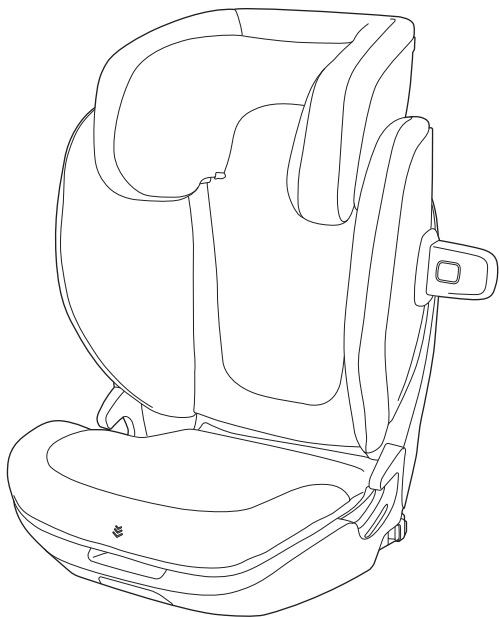


# aace<sup>TM</sup> lx

エース ラックス

取扱説明書 / 保証書



## 重要！

本取扱説明書は、必要なときにいつでも参照できるように、大切に保管してください。

本取扱説明書を熟読して、内容を理解した上で本製品をご使用ください。



**必ずお読みください**

本製品は、ECE R129/03 基準に適合するチャイルドシート製品ですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。本取扱説明書は、本製品底面の取扱説明書ホルダーに大切に保管し、必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。

# もくじ

はじめにお読みください	4
ユーザー登録のお願い	4
チャイルドシートについて	6
本製品の重要な情報	6
3点式シートベルトの使用	7
適合車種一覧	7
表記の説明	7
本取扱説明書で使用するイラストについて	8
その他の表記について	8
最初にご確認ください	9
内容物の確認	9
各部の名称	10
自動車に関わる各部の名称	11
使用可能なお子さまの範囲	12
自動車の座席への取り付けに関して	12
取り付け、使用可能な座席の位置と向き	12
i-Size	13
シートベルトの使用	13
使用できない座席	14
取扱説明書の携行	16
使用上の注意	17
緊急時の操作	27
基本的な使いかた	27
ヘッドサポートの高さ調節	27
バックサポートの角度調節	29
シートスライド機構	30
サイドインパクトプロテクションポッド	32
カップホルダー	33
自動車の座席への取り付け	35
ISOFIX による取り付け	35
3点式シートベルトのみの場合	41
お子さまの乗せかた	45
お手入れのしかた	54
カバー・パネルの取り外し	54
カバー・パネルのお手入れ	61
本体部のお手入れ	63
樹脂部分・衝撃吸収材	63
金属部分	64
ISOFIX コネクター	64
除菌・抗ウイルス製品の使用にあたっての注意	65
保管のしかた	65
廃棄のしかた	65
保証書	巻末

# はじめにお読みください

## ユーザー登録のお願い

チャイルドシート製品をご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたしております。本製品は、日本国内で使用を認められているチャイルドシート基準の ECE 基準に適合しております。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適さない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いいたしております。

同梱の「ユーザー登録はがき」または、下記の弊社ホームページよりご登録ください。

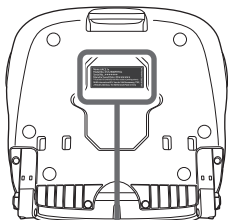
お預かりしたお客様の個人情報、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的にのみ利用させていただきます。

<https://www.katoji.co.jp/childseat.html>



日本国内においては、輸入販売元の株式会社カトージにおいて、ユーザー登録、保証サービス、サポートを行っておりますので、上記 URL からご登録いただくか、同梱のユーザー登録はがきによりご登録をお願いします。

ユーザー登録に必要な情報は、本製品の底面に記載されています。



Model No. (モデルナンバー)

Serial No. (シリアル番号)

Manufactured Date (製造年月日)

## チャイルドシートについて

チャイルドシートは、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進、急停止、急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としており、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

また、チャイルドシートが正しく取り付けられていなかったり、お子さまの身体がチャイルドシートに正しく固定されていなかったり、お子さまの体重や体格に適さない状態でチャイルドシートを使用したりすると、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記に従って、常に正しく使用してください。

また、**どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、チャイルドシートを常に正しく使用するとともに、慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。**

## 本製品の重要な情報

- 1 本製品は、UN Regulation No.129 基準に適合した非一体型汎用 ISOFIX 改良型年少者用補助乗車装置 (i-Size ブースターシート) です。
- 2 本製品は本製品の適合する基準の規定により、身長 100cm ~ 150cm のお子さまに使用することができます。
- 3 本製品は、UN Regulation No.129/03 に適合しています。
- 4 ご不明な点については、チャイルドシートのメーカーまたは保証書欄に記載のお問い合わせ先またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

## 3点式シートベルトの使用

本製品は、自動車の3点式シートベルトをお子さまに装着して使用します。2点式シートベルトや5点式シートベルトの座席、シートベルトが装備されていない座席では使用することができません。

## 適合車種一覧

以下のホームページに掲載の適合車種一覧において、本製品を取り付けて使用できる車両の情報が記載されています。

<https://katoji.co.jp/user-carseat/index.html>



### ポイント

本製品は、多くの自動車の座席で使用することができますが、すべての自動車、座席において使用できるとは限りません。本書および自動車の取扱説明書を参照の上、確認してください。以下のホームページに記載の適合車種一覧をご確認いただくか、本取扱説明書末尾に記載の弊社お客様サービスまでお問い合わせください。なお、適合車種一覧は適宜更新しています。

## 表記の説明

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意、ご留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しております。

この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品を使用されるお子さまや保護者の方、また、周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上で使用してください。

**危険**

この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

**警告**

この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

**注意**

この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。



この表示に付随して記載されている事柄は正しい状態にあることを示します。



この表示に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されている状態にあることを示します。

## 本取扱説明書で使用するイラストについて

本取扱説明書で使用しているイラストは、より理解しやすくするために、大きさの比率の変更、強調、誇張などをおこなっており、実際とは異なる部分があります。あらかじめご了承ください。

## その他の表記について

**ポイント**

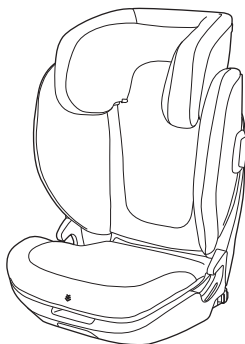
「ポイント」と表記された枠に記載されている事項は、本製品をご使用いただくにあたって知っておいていただきたいこと、また、本製品をより便利にご使用いただくための大切な情報です。



## 最初にご確認ください

### 内容物の確認

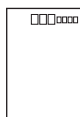
本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にならず、大変お手数ですが巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



本体



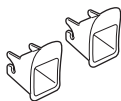
本書（取扱説明書 / 保証書）



ユーザー登録はがき



カップホルダー×1



ISOFIX ガイド×2



サイドインパクトプロテクションポッド×1

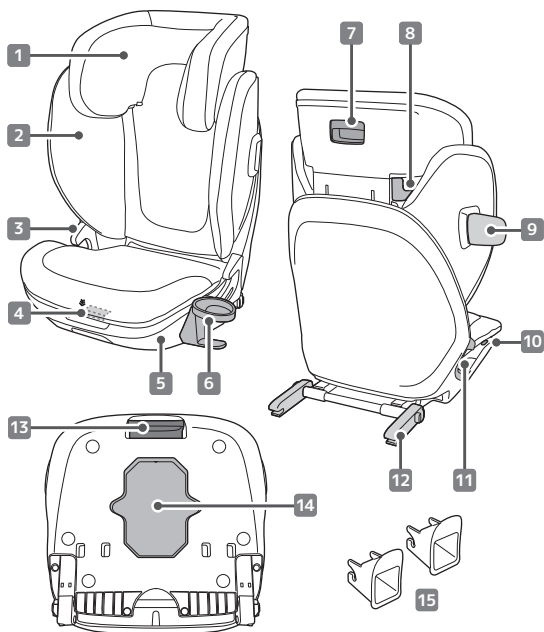


**注意** 本製品が入っていたビニール袋などの梱包材は、本製品開梱後、直ちにお子さまの手の届かない場所に廃棄してください。



**ポイント** 本製品の組み立てには、工具類は必要ありません。

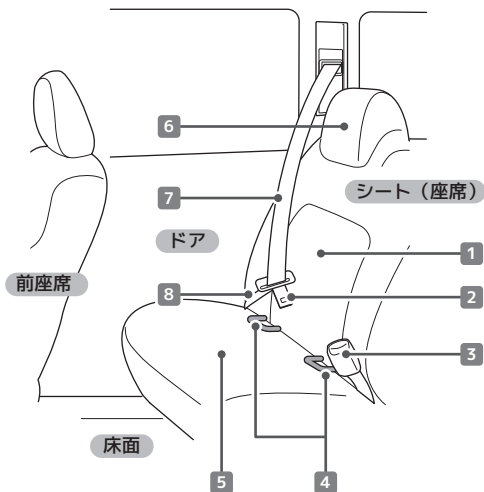
## 各部の名称



- |   |                 |    |                              |
|---|-----------------|----|------------------------------|
| 1 | ヘッドサポート         | 9  | サイドインパクト<br>プロテクションポッド (SIP) |
| 2 | バックサポート         | 10 | カップホルダースロット                  |
| 3 | アームレスト          | 11 | 腰ベルトガイド                      |
| 4 | シートスライドボタン      | 12 | ISOFIX コネクター                 |
| 5 | ベース             | 13 | ISOFIX アジャスターボタン             |
| 6 | カップホルダー         | 14 | 取扱説明書ホルダー                    |
| 7 | ヘッドサポートアジャストレバー | 15 | ISOFIX ガイド                   |
| 8 | 肩ベルトガイド         |    |                              |

## 自動車に関わる各部の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の部位、部品に関して言及している箇所があります。本取扱説明書においては以下の通りの名称を用います。



- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| 1 背もたれ        | 5 座面            |
| 2 シートベルトタング   | 6 ヘッドレスト        |
| 3 シートベルトバックル  | 7 シートベルト (肩ベルト) |
| 4 ISOFIX 固定装置 | 8 シートベルト (腰ベルト) |
- バックル

💡ポイント

自動車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）においては、別の名称で記載されている場合があります。必要に応じて、上図を参照し、自動車の取扱説明書の表記と照合するようにしてください。

## 使用可能なお子さまの範囲

本製品は、以下の範囲のお子さまに使用することができます。ISOFIX による固定の場合も3点式シートベルトのみで使用する場合と同様です。

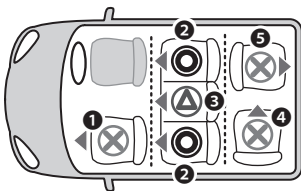
シートの向きと 使用可能なお子さまの範囲	参考年齢 <sup>※</sup>
<p>進行方向に対して前向きで設置 お子さまの身長：100cm～150cm まで</p>  <div data-bbox="331 504 626 680"><p><b>⚠ 注意</b></p><p>お子さまの身長 135cm を超えた場合、一部の車種、座席の条件によっては使用できなくなる場合があります。</p></div>	3.5 歳～12 歳頃まで

※：年齢は参考です。身長によってお子さまの使用可能な範囲が定められています。

## 自動車の座席への取り付けに関して

### 取り付け、使用可能な座席の位置と向き

本製品は、自動車の進行方向に対して前向きの座席に、前向きにして取り付け、使用します。



- ① 助手席・・・取付使用不可
- ② 後列左右ドア側席・・・取付使用可能
- ③ 後列中央席・・・取付使用可能<sup>※</sup>
- ④ 進行方向横向きの座席・・・取付使用不可
- ⑤ 進行方向後ろ向きの座席・・・取付使用不可

※ 3点式シートベルトが装備されている場合は使用できる可能性があります。ただし ISOFIX 固定装置は、ほとんどの場合において装備されていません。本製品は、ISOFIX 固定装置の装備された座席での使用をお勧めします。



自動車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）のチャイルドシートの取り扱いに関する記載を併せてご確認ください。

上記の座席（シート）すべてに取り付けおよび使用可能とは限りません。



**危険** 上記は、座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。この位置と向きにあって、かつその他の条件を満たした座席にのみ取り付けが可能です。

## i-Size

本製品は、「i-Size」規格に対応しています。当社が特に指定しない限り、自動車の取扱説明書において、「i-Size 対応」と指定されている座席に ISOFIX 固定により取り付けて使用することができます。

ただし、「i-Size 対応」の座席の場合でも、本製品のすべての機能が使用できるとは限りませんので、ご注意ください。

また、自動車の1つの座席に取り付けが可能であっても、他の座席で取り付け可能とは限りません。

また、「i-Size 対応」と指定されていない自動車、座席でも、取付可能な場合がありますので、車種適合一覧にて、適合の可否をご確認ください。

## シートベルトの使用

本製品では、自動車の3点式シートベルトを使用します。2点式シートベルトや5点式シートベルトの座席、シートベルトが装備されていない座席では使用することができません。

また、本製品では ISOFIX 固定装置を使用せず3点式シートベルトのみで使用することもできますが（3点式シートベルトでの適合確認が取れている場合のみ）、より安全にご使用いただくため ISOFIX 固定による使用を強く推奨いたします。

ただし、年式の古い車両においては3点式シートベルトでも、シートベルトの仕様により本製品を使用できない可能性がありますので、いずれの場合も適合車種一覧にて使用の可否をご確認ください。

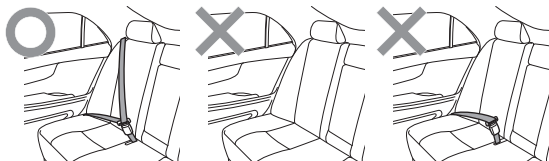
## 使用できない座席

本製品は、すべての自動車、すべての座席で使用できるものではありません。本製品を取り付け、使用できる自動車、座席の情報については、お車の取扱説明書と適合車種一覧を参照してください。

**⚠危険** 以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

### 3点式シートベルト以外の座席

シートベルトが装備されていない座席はもちろん、2点式、4点式、5点式シートベルトでは使用できません。必ず3点式シートベルトの装備された座席で使用してください。



### 助手席

当社では助手席でのチャイルドシートの使用は推奨しておりません。事故や衝撃を受けた際にお子さまがダッシュボードにぶつかったりするほか、通常使用時においても運転に支障をおよぼすおそれがありますので、より安全な後部座席に取り付けて使用してください。

### 適合車種一覧で取り付け不可または使用不可となっている車種、座席

本製品の適合車種一覧で、取り付け、使用不可となっている車種または特定の座席（車種が適合していても、すべての座席で取り付け、使用可能とは限りません）では使用できません。ご購入前に適合車種一覧をご確認ください。

### 本製品を安定して設置できない座席

極端な凸凹がある座席や幅や奥行きが極端に狭い座席、極端に傾斜した座席やドアやコンソールなど座席以外の構造物に本製品が接触する座席、自動車の座席の可動操作に干渉する座席では、本製品が安定しないため取り付けないでください。また、適合車種でも限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたり、座席そのものが交換されている場合もあります。これらの場合、適合車種一覧での取り付け可否に関わらず、本製品を安定して設置できないこともあります。





以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

#### 安定しない座席や、座席やドアの開閉に干渉する座席

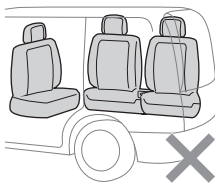
安定しない座席や取り付け時に本製品の角度に異常が生じる座席、可動式の座席で座席を動かした際に本製品に干渉する座席、自動車のドアの開閉時に干渉する座席では使用しないでください。

その他、しっかりと取り付けられない座席や、取り付け操作中に動く座席  
取扱説明書に従っても、しっかりと固定できない、安定しない、本製品の角度などに異常がある座席、取り付け操作中やシートベルトの装着操作中に動く座席など、正常に取り付けおよび使用ができない座席では、使用しないでください。

#### 進行方向に対して前向き以外の座席

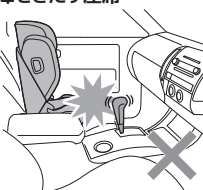
本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席でのみ使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。

また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席、バス、電車、飛行機、船などの座席では使用しないでください。



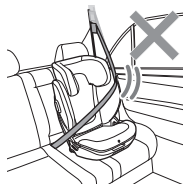
#### 本製品を使用することによって運転、操作に支障をきたす座席

本製品を使用すると、ドアミラーが見えにくくなる座席やサイドブレーキやシフトレバー、ハンドル、ウインカーなどの操作に影響を与えて自動車の安全な運転操作に支障をきたすおそれのある座席では使用できません。本製品は後部座席で取り付け、使用してください。



#### パッシブシートベルトが装備された座席

ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着されるパッシブシートベルトが装備された座席では、本製品を使用できません。



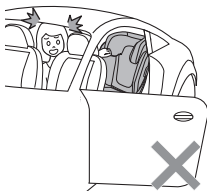


**危険** 以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

#### 乗員の脱出に影響を与える座席

片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、本製品を使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。

実際に本製品を使用する前に緊急時を想定して、使用しようとする座席の上に本製品を置き、その状態で、すべての座席から他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また、緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかをあらかじめ確認してください。



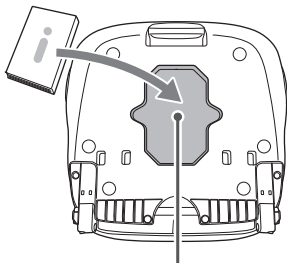
#### 自動車の取扱説明書において使用が推奨、指示されていない座席

必ず自動車の取扱説明書を確認してください。自動車の取扱説明書において、チャイルドシートの取り付け、使用に関して、推奨する座席が記載されている場合があります。また取り付け、使用を禁止する記載が行われている場合がありますので、その指示に従ってください。

ただし当社では、助手席での取り付け、使用は禁止しております。後部座席で取り付け、ご使用ください。

## 取扱説明書の携行

本取扱説明書は、必要な時にいつでも参照できるよう、ベース底面にある取扱説明書ホルダーに保管しておいてください。



取扱説明書ホルダー



# 使用上の注意

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の同乗者の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。

ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しています。



**危険** 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

**本書および本体の表記に従って正しく自動車の座席に取り付けること**  
本取扱説明書や本製品の本体に記載されている指示と方法および本製品を取り付けて使用する自動車の取扱説明書の指示に従って、正しく自動車の座席に固定し、使用してください。

正しく固定されていないと、衝突や急制動の際に本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

**指定以外の耐荷重保持接点を使用しないこと**

本製品の取り付けおよび使用にあたっては、本書および本製品に表記されている耐荷重接点（ベルトガイド、シートベルトの通し位置や経由点、ISOFIX 使用時の接合部など）以外を使用しないでください。本製品の取り付けおよび使用にあたっては、必ず本書や本製品に表記されている指示に従ってください。

**お子さまの使用条件を守ること**

本製品は、適合する基準（ECE R129/03）により使用できる条件が定められています。本製品は、身長 100cm から 150cm までのお子さまが使用できます。この使用条件を守らないと、本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

目安としては、3.5 歳頃から 12 歳頃までのお子さまにご使用いただけますが、身長が上記の範囲に満たない、または超えた場合には本製品を使用しないでください。



**取扱説明書および本製品に記載の指示に従うこと**

重大な事故につながるおそれがありますので、本書の指示にない使いかたはしないでください。本書および製品本体に記載する方法以外での取り付け、使用はしないでください。



**危険** 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

**本製品は取扱説明書および自動車の取扱説明書の内容を理解した大人の方が操作すること**

本製品を誤った状態で使用すると、お子さまばかりか、他の乗員の方にも危険がおよぶおそれがあります。たとえ使用方法を理解していたとしてもお子さまに操作をさせないでください。

**正しく自動車の座席に固定して適切に使用すること**

本製品を適切に使用しないと、急カーブ、急停止、衝突などの衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあります。

本取扱説明書および本製品の本体に記載されている指示、ならびに本製品を取り付ける自動車の取扱説明書の内容を理解し、その指示に従ってのみ適切に使用することができます。

**本製品の取り付け、設置場所に注意すること**

本製品を取り付け、設置する場所によっては、お子さまが可動式の座席や自動車のドアに挟まれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。あらかじめ安全を確認しておいてください。

また、設置する場所によっては、本製品が可動式の座席や自動車のドアに干渉して、本製品が破損したり、安全に機能しなかったりするおそれがあります。

**取扱説明書は本製品と一緒に保管すること**

第三者に本製品を使用させる場合にも、本書を必ず参照させて本製品を正しく使用できるようにしておいてください。本書は、必要な時にいつでも参照できるよう、所定の取扱説明書ホルダーに入れて保管してください。

**短距離、短時間の移動でもチャイルドシートを使用すること**

多くの事故は、短距離、短時間の移動の際に発生しています。たとえ短い距離の移動でも、お車を使用する場合は、お子さまの安全のためチャイルドシート（本製品）を正しく使用してください。

**体型が合わない場合は使用しないこと**

「使用できるお子さまの条件」に規定された範囲内でも、着衣の状態やお子さまが成長してシートベルトの位置が正しく調節できないなど、正しくお子さまを乗せると、シートベルトを正しく装着できない場合には所定の安全性能を発揮できませんので、本製品の使用は中止してください。

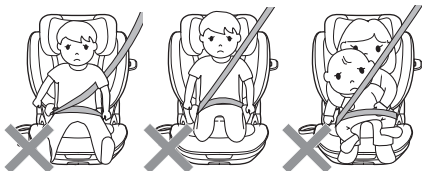




以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

### お子さまを正しく座らせて使用すること

本取扱説明書の記載に従い、本製品を正しく調節して、正しくお子さまを座らせて使用してください。シートベルトを間違えて使用したり、無理な姿勢で座らせたり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。



### 指定する方法以外で使用しないこと

本製品の固定やお子さまの固定のために、ひもや、帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどを使用してはいけません。ISOFIX で固定した上、シートベルトを装着した上に、これらのもので補強してもいけません。シートベルトが正しく使用されていても、これらのものがお子さまの首や身体に引っかかったり、シートベルトや本製品の固定状態に干渉するなどして重大な事故につながるおそれがあります。



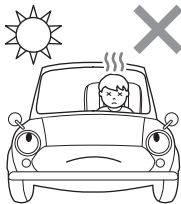
### シートベルト（シートベルトバックル・シートベルトタング）に損傷がある場合は使用しないこと

交通事故や急制動の際にシートベルトが切断したりバックルが外れたりして、重大な事故につながるおそれがあります。



### お子さまを自動車内に放置しないこと

本製品の使用の有無に関わらず、いかなる場合でも、どれだけ短い時間でも、お子さまを自動車の中に放置してはいけません。日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、誤って自動車の操作をしたりシートベルトに絡まるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。





以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

### 正しくシートベルトを装着すること

#### シートベルトをねじらないこと

お子さまが装着するシートベルトにねじれがあると本製品が安全に機能しません。本製品を正しく調節して、シートベルトにねじれがないことを確認してしっかりと締め付け、いずれの場合もしっかりとバックルを留めて正しく使用してください。

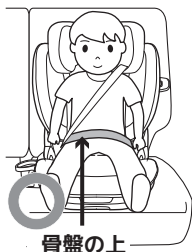


### シートベルトは、ゆるみのないようにすること

シートベルトにゆるみがあると、本製品が座席から外れたり、お子さまが本製品から飛び出したり、お子さまに過剰な衝撃が加わったり、お子さまの首にシートベルトが絡まるなどして重大な事故につながるおそれがあります。シートベルトはゆるみ、ねじれがないようにして、しっかりと装着してください。

### シートベルトの腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通すこと

事故や衝撃を受けた際にお子さまにかかる衝撃を骨盤でしっかりと受け止めるため、シートベルトの腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通して適切に締め付けるようにしてください。骨盤の上を通過していないと、内蔵の損傷や骨折の危険性が高まります。



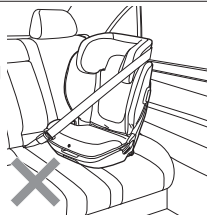
骨盤の上

### EPP / EPS フォーム (白色の衝撃緩衝材) を取り外さないでください

本製品の内部に取付けられている EPP / EPS フォームは、本製品の安全性に関わる重要な部品です。絶対に取り外さないでください。

### 前向き以外にして使用しないこと

本製品は自動車の進行方向に向かって前向きにして使用します。後ろ向きや横向きなど、前向き以外の状態では使用できません。





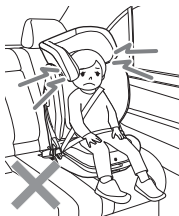
以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

### カバー類、パッド類を取り外して使用しないこと

カバー類、パッド類を取り外して使用すると、本製品が所定の安全性能を発揮できません。本取扱説明書で別段の指示がない限り、本製品の部品を取り外した状態で使用しないでください。カバー類、パッド類、衝撃吸収材も安全に関わる重要な部品です。決して取り外して使用しないでください。また同様に、本製品に縫い付け、または貼られているラベルやシールも本製品の適合する安全基準で規定されている重要な部品ですので、決してはがさないでください。

### 部品を取り外した状態、本製品に破損や異常がある状態では使用しないこと

交通事故や急制動の際に本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。また本製品の破損部により思わぬ事故につながるおそれがあります。



### 本製品にお子さまを乗せた状態で持ち運ばないこと

お子さまが落下したり窒息するおそれがあります。本製品を持ち上げる、持ち運ぶ、移動させる場合は、お子さまを本製品に乗せずに行ってください。



以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

### 強い衝撃を受けた場合、損傷した場合、部品が欠落した場合は使用を中止すること

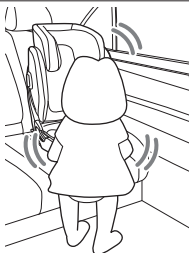
交通事故にあった、落下させた、車のドアで強くはさんだなど、本製品に一度でも強い衝撃を加わった場合、本製品の使用を中止してください。また、本製品の部品が欠落したり紛失した場合も使用を中止してください。目には見えない損傷や部品の欠落の影響によって本製品が安全に機能しなくなっている可能性があります。このような場合は、保証の対象外となり、また安全性が担保できないため、修理もできませんので、新しい製品をご購入いただく必要があります。



**警告** 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

### 走行前に本製品の状態を確認すること

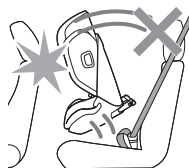
お子さまや他の乗員などが本製品に触れたり、座席を操作したりするなどして本製品の固定状態が変化しているおそれがあります。走行前には、必ず本製品が適切な状態にあるかどうかを確認してください。本製品を誤った状態で使用すると、お子さまばかりか、他の乗員の方にも危険がおよぶおそれがあります。



### 車室内では、本製品を必ず固定しておくこと

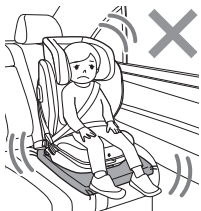
自動車の座席に本製品が固定されていないと、通常走行や交通事故や急制動の際に本製品が移動して運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

自動車に本製品を乗せる際には、ISOFIX またはシートベルトで自動車の座席に固定するか、車外に出すなどして、自動車の運転中に本製品が車室内で移動しないようにしておいてください。



### 本製品の下にクッションや敷物などを敷かないこと

本製品と座席の間に、座布団やクッションなどの敷物を置かないでください。本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品は、正しく使用することにより自動車の座席にくぼみや傷が生じ、取り付け痕が残る可能性があります。本製品を安全に機能させるために生じるものですので、あらかじめご了承ください。



### 走行中は、本製品を操作しないこと

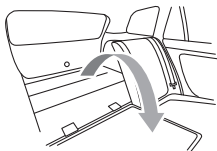
自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。お子さまの状態の確認のためでも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、お子さまの状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認、操作を行ってください。



**警告** 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

#### 可倒式座席の場合、確実に背もたれを固定すること

自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席/トランクスルー）で本製品を使用する場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れて思わぬ事故につながるおそれがあります。



#### バックルが正しく留まっているか適宜確認すること

お子さまがシートベルトのバックルに触れると、バックルが解離してシートベルトが外れるおそれがあります。お子さまには、シートベルトバックルに触れないように言い聞かせ、適宜バックルが正しく留まっていることを確認してください。



#### 不適切な着衣で使用しないこと

お子さまを正しく固定できず、お子さまが落下したり、飛び出したりするおそれがあります。ケープや毛布など衣服ではないもの、また、おくるみなど、腕や足が出ない、シートベルトを正しく装着できない構造の衣服、サイズの大きすぎる衣服などを着せて本製品を使用しないでください。また、ダウンジャケットなど、厚着をしている場合には、お子さまが確実にシートベルトを装着できるよう、本製品を正しく調節してください。また、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが滑りやすくなりますので、毛布や座布団などの敷物をお子さまの下に敷かないでください。





**警告** 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

**本製品を分解したり改造したり、指定外の部品を取り付けて使用しないこと**

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品の分解、改造をしてはいけません。また指定外の部品に交換したり、他社製の部品や製品を追加して取り付けて使用しないでください。型式承認機関の承認を得ずに、本製品を改造、改善、修繕を行うことはできません。



**カバー類、パッド類など縫製品、縫製部品を純正品以外のものと交換しないこと**

カバー類、パッド類、衝撃吸収材も安全に関わる重要な部品です。これらを純正品以外のものと交換すると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

**指定外のアクセサリを追加して使用しないこと**

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。チャイルドシート用とされていても、当社指定外の市販のマットやソフトクッション、パッドなどを本製品に追加して使用しないでください。また、3点式シートベルトが安全に機能しなくなるおそれがありますので、シートベルトの長さを調節する器具や、肩ベルト、腰ベルト用のパッドなどの市販のアフターマーケット品をシートベルトに取り付けてはいけません。

**過度の負担を掛けないこと**

本製品が損傷し、所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品に重いものを載せたり、自動車のドアや自動車の座席のリクライニングで強くはさむなどしたりしないでください。本製品に強い衝撃が加わったり損傷したりした場合、本製品を使用してはいけません。



**中古品や劣化した本製品を使用しないこと**

中古品は、過去の履歴や保管状況、使用状況が不明なため、また劣化した本製品は強度等が劣る可能性があります。使用してはいけません。

安全のため、使用しなくなった本製品は、再利用されないよう配慮いただき、廃棄するようお願いいたします。





**⚠警告** 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

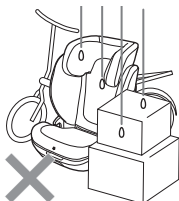
#### 目的外で本製品を使用しないこと

本製品は、自動車内で使用するチャイルドシート（ブースターシート）としてのみ使用することができます。椅子やベッド、ベビーキャリーとして使用するなど、目的外で使用すると、本製品が破損したり、お子さまが落下するなどして重大な事故につながるおそれがあります。



#### 不適切な保管をしないこと

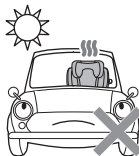
部品の劣化が早まったり、変質するなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管した本製品を使用してはいけません。



**⚠注意** 以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

#### 部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、本製品の金属部品や樹脂部品が、日光により過度に加熱していないか確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、日陰に駐車したり本製品に覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。



#### 車内にある動くものは固定しておくこと

急制動などの際に、本製品を使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある動く物品は適切に固定するようにしてください。



**⚠️ 注意** 以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

#### 長時間連続して使用しないこと

お子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレス、疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくため、適宜、お子さまを本製品から降ろして、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。また、運転の安全のためにもなりますので、最低でも1時間に1度は休憩をとるようにしてください。

#### 長期間使用しない場合は、本製品を自動車から取り出すこと

車内の環境により、樹脂部品などの劣化が進むおそれがあります。長期間に渡って使用しない場合は、本製品を車外に出し、適切に保管してください。

#### 適切な方法でお手入れすること

チャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメンテナンスの際に、稼働部、接合部に潤滑油を使用してはいけません。本製品のお手入れは、本取扱説明書の指示に従っておこなうようにしてください。



#### トランクでの保管に注意すること

本製品の破損につながるおそれがあります。本製品を自動車のトランクに入れて保管する場合、上に他の物を載せないようにしてください。

#### カップホルダーに熱い液体を入れないこと

お子さまがヤケドを負うおそれがあります。カップホルダーにはお子さまがヤケドするような熱い飲み物などの液体の入った容器（カップなど）を入れないでください。

#### カップホルダーの取り付け位置に注意すること

カップホルダーは、自動車のドア側にして取り付けないでください。ドアの開閉の衝撃や、乗り降り時にお子さまがひっかかるなどして内容物がこぼれるおそれがあります。

#### 身長 135 cmを超えたお子さまにはご注意ください

車種、座席の位置（条件）によっては本製品を適切に使用できなくなる場合があります。

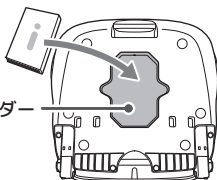
#### 不明点は販売店、チャイルドシートメーカーに問い合わせください

補修やお手入れ、メンテナンスについて疑問がある場合は、本製品をお買い求めになった販売店または巻末に記載のお客様サービスにお問い合わせください。

## 重要

本書は取扱説明書ホルダーに保管すること  
必要なときにいつでも参照できるよう、  
本書は、本体底面にある取扱説明書  
ホルダーに保管しておいてください。

取扱説明書ホルダー



## 緊急時の操作

交通事故などの緊急時には、あわてず自動車のバックルを外して、シートベルトからお子さまを抜き、速やかに自動車外に脱出させてください。そして直ちにお子さまの応急処置を行い、医師の診断を受けるようにしてください。

お子さまの脱出の際に、自動車のシートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。

## 基本的な使いかた

ここでは、本製品の基本的な使いかたについて説明しています。実際に使用する際は、お子さまの体格に合わせて調節してください。

**⚠危険** 適切に使用すること。不適切な使用は、思わぬ事故につながります。本書に記載されているすべての事柄を理解して、本製品を正しく使用してください。

## ヘッドサポートの高さ調節

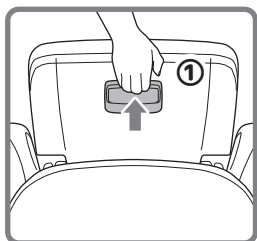
ヘッドサポートの高さは、肩ベルトガイドの高さと連動しています。ヘッドサポートの高さを調節することにより、お子さまの頭部を保護するとともに肩ベルトの高さを適切に調節します。

参照 P50 > お子さまの乗せかた > 07

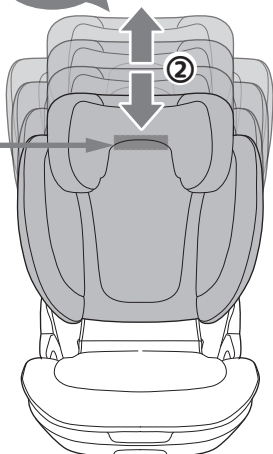
# 01

ヘッドサポート裏側の、①ヘッドサポートアジャストレバーを引き上げて、②ヘッドサポートを上下にスライドさせて、ヘッドサポートの高さを調節します。目的の高さで握った手を放して軽く上下に動かすと「カチッ」と音がしてヘッドサポートが固定されます。ヘッドサポートの高さは17段階で調節できます。

カチッ!

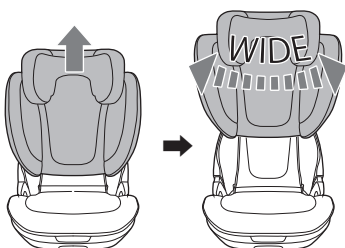


ヘッドサポートアジャストレバー



## ポイント

お子さまの成長に合わせて、より快適にご使用いただけるように、ヘッドサポートを高く調節すると、バックサポートが連動して自動的に外側に広がる機構を採用しています。



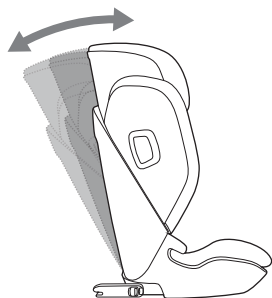
ヘッドサポートを高く調節すると、自動車の座席のヘッドレストに干渉する場合は、自動車の取扱説明書を参照してヘッドレストを動かすか、取り外してください。

## バックサポートの角度調節

本製品を設置する自動車の座席の背もたれの角度に合わせて本製品のバックサポートの角度を調節します。

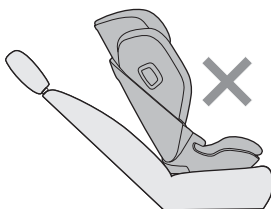
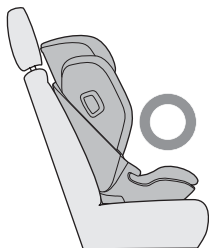
### 01

バックサポートを前後に倒して角度を調節します。設置する自動車の座席の背もたれに本製品のバックサポートが接するよう（自動車の座席の背もたれの角度に一番近い角度）、適切に調節してください。



### ⚠ 警告

バックサポートの角度調節は、お子さまを快適にするための、いわゆるリクライニング機構ではありません。バックサポートを自動車の背もたれの角度に合わせるためのものです。本製品を設置する自動車の座席の背もたれの角度や、リクライニング機能に応じて本製品のバックサポートの角度を調節してください。バックサポートが自動車の背もたれに接するように調節します。

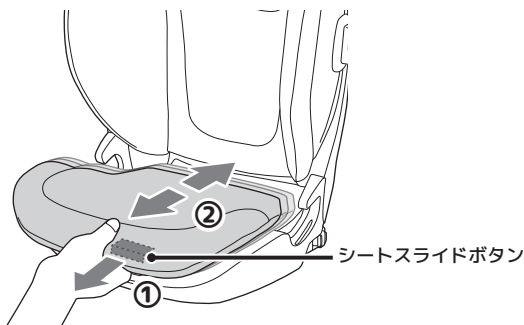


## シートスライド機構

お子さまの快適のため、また、安全のためにより適切な姿勢で本製品をご使用いただくために、本製品には、本製品の座面部分を前後に位置調節するシートスライド機構が装備されています。

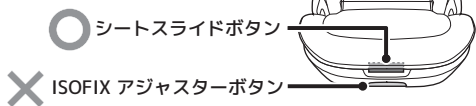
### 01

本製品の座面部先端にある①シートスライドボタン（外側からは見えません）を手前に引いて、②座面部分を前後にスライドさせて位置を調節します。シートスライドボタンから手を離すと、その位置（3段階）で座面部が固定されます。



#### ポイント

座面部先端には、シートスライドボタンとISOFIX アジャスターボタンがあります。間違わないように注意してください。



### 02

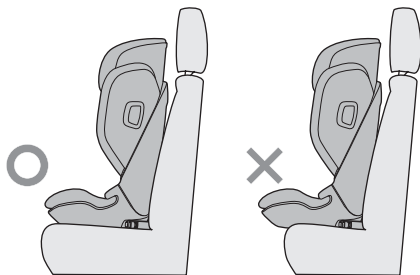
座面部分を前後にすこし動かして、目的の位置（3段階）で固定されていることを確認してください。

シートを前方にスライドさせた際に、本製品の座面の先端部が、自動車の座席の前端部より前にはみ出す場合は、シートを前方にスライドさせないでください。



**警告**

また、シートを後方にスライドさせても、本製品の座面の先端部が自動車の座席の前端部より前にはみ出す場合は、その座席では使用しないでください。



## サイドインパクトプロテクションポッド

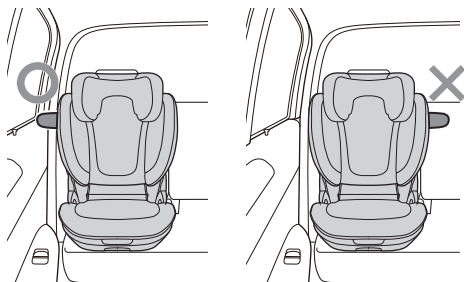
本製品には事故時などに生じる側面からの衝撃を緩和する安全機構のサイドインパクトプロテクションポッド (SIP) が同梱 (1 個) されています。

SIP は、自動車のドア側に取り付けてください。

実際にご使用になる前に、SIP を取り付けてみて、ドアの開閉に干渉しないかご確認ください。ドアの開閉に干渉する場合は SIP を取り外して使用します。

中央席側 (他の乗員側) には取り付けないでください。事

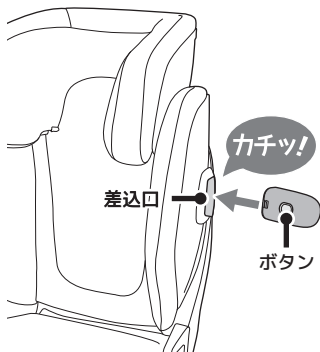
**⚠注意** 故や衝撃を受けた際に、中央席側の乗員に SIP があたりケガをするおそれがあります。



### 01

取り付けるには、SIP を取り付ける側の差込口に、SIP のボタンを手前側にして差し込みます (シートを前側から見た状態の手前側です)。

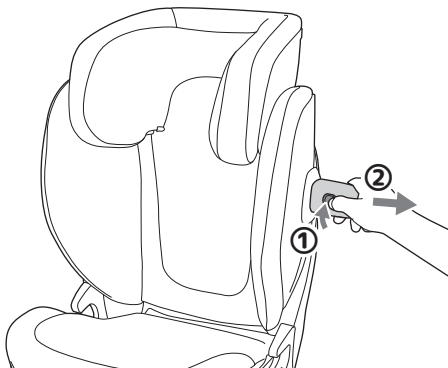
「カチッ」と音がして、SIP が固定されたことを確認してください。





## 02

取り外すには、① SIP のボタンを押しながら、②引き抜きます。

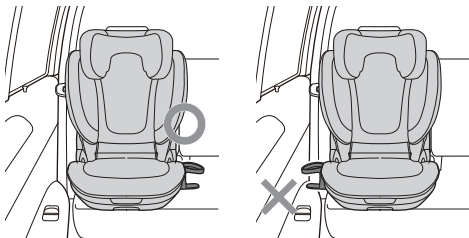


### カップホルダー

お子さまがヤケドを負うおそれがありますので、**警告** カップホルダーにはお子さまがヤケドするような熱い飲み物などの液体の入った容器（カップなど）を入れないでください。

自動車のドア側には取り付けないでください。ドアの開閉の衝撃や、乗り降りの際に引っかかるなどして内容物がこぼれるおそれがあります。

**注意**



カップホルダーは、飲み物などの入った容器を差し込むために使用します。自動車の動きや、お子さまの体動、行為によって、内容物が容器からあふれたり、こぼれたりすることがありますので、あらかじめご了承ください。

## 01

取り付けには、本製品の座面部左右横いずれかのカップホルダースロットに、カップホルダーのフック部を差し込んで取り付けます（自動車のドア側には取り付けないでください）。しっかりと、最後まで差し込んでください。操作は非常に硬めですので、注意して差し込んでください。



### ポイント

シートスライド機構を使って、シートを前方にスライドさせておくと取り付けしやすくなります。

参照 P30-31 > シートスライド機構



差し込みの操作は非常に硬いので、ケガしたりしないよう注意して操作してください。

### 注意

フック部は最後までしっかりと差し込んでください。差し込みが不十分だと、シートスライド機構に干渉します。また、使用中にカップホルダーが外れたり、傾くなどして、容器に入った内容物がこぼれたりするおそれがあります。

## 02

取り外しは逆の手順で行います。操作は非常にかためですので、注意して取り外してください。



# 自動車の座席への取り付け

本製品は、自動車の座席の ISOFIX 固定装置に ISOFIX コネクターを固定して取り付け、自動車の 3 点式シートベルトをお子さまに装着して使用します。

座席に ISOFIX 固定装置がない場合は、本製品を座席に固定せずに、一定の条件を満たした座席の 3 点式シートベルトを装着して使用することもできますが、より安全のため、本製品は ISOFIX による固定を強くお勧めします。

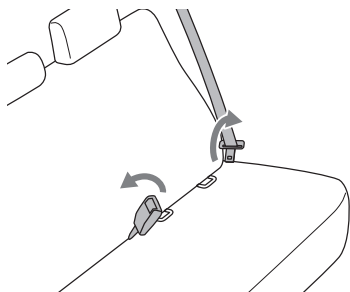
**⚠ 警告** 安全のため、取り付け、取り外しの作業中は、お子さまを近づけないようにしてください。

**⚠ 注意** お子さまを乗せた状態で取り付け、取り外し操作をしないでください。本製品が落下したり思わぬ動きをして事故につながるおそれがあります。  
本製品を正しく取り付けることにより、自動車の座席の表面に取り付け痕が残ったり、キズが発生する事があります。あらかじめご了承ください。

## ISOFIX による取り付け

### 01

本製品を取り付ける座席のシートベルトは、留めずに巻き取るなどして邪魔にならないようにしておきます。シートベルトタングやシートベルトバックル、その他のものの上に本製品を乗せないようにしてください。



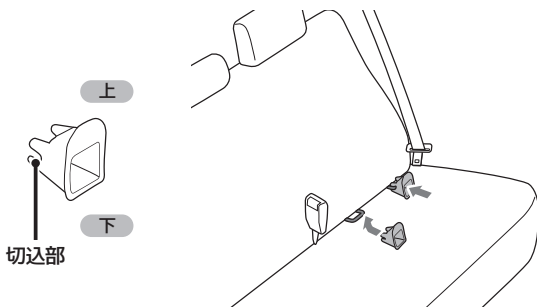
### 💡ポイント

ISOFIX 固定装置は、座面と背もたれの間奥にあります。背もたれを押し上げるか、座面を押し下げると、ISOFIX 固定装置が見えますので、その状態で ISOFIX ガイドを差し込んでください。また、車種によっては、ISOFIX 固定装置にカバーが掛けられている場合がありますので、お車の取扱説明書をご確認ください。

## 02

ISOFIX ガイドを、座席の ISOFIX 固定装置に差し込みます。

ISOFIX ガイドには左右はありませんが、上下がありますので上下を間違わないように注意して、切込部を ISOFIX 固定装置に差し込むようにして取り付けてください。

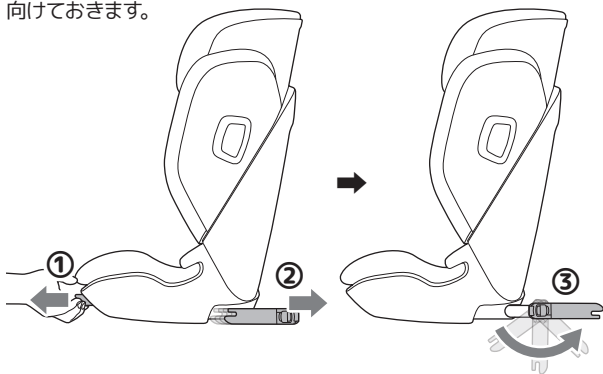


### 💡ポイント

車種によっては、ISOFIX ガイドに類するカバーが取り付けられているなど、ISOFIX ガイドを差し込めない場合があります。その場合は、ISOFIX ガイドを差し込まずに本製品を取り付けることもできますが、ISOFIX 固定装置の周囲の座席の生地に傷がつく場合があります。あらかじめご了承ください。

### 03

本製品の座面部先端にある① ISOFIX アジャスターボタンを手前に引いて、② ISOFIX コネクターを最後まで引き出して、ISOFIX アジャスターボタンから手を離します。③ ISOFIX コネクターを回転させて外側に向けておきます。

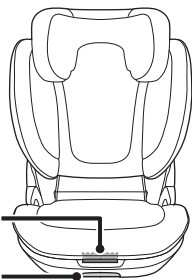


#### 💡ポイント

座面部先端には、ISOFIX アジャスターボタンとシートスライドボタンがあります。間違わないように注意してください。

✕ シートスライドボタン

○ ISOFIX アジャスターボタン

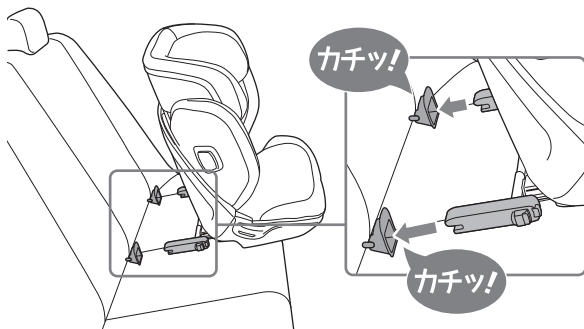


ISOFIX コネクターは、回転させた状態で固定されません。

## 04

本製品を取り付ける座席の上に置き、左右の ISOFIX コネクターを、それぞれ ISOFIX ガイドに差し込みます。

「カチッ」と音がして ISOFIX 固定バーに固定されるまでしっかりと差し込んでください。



### 💡ポイント

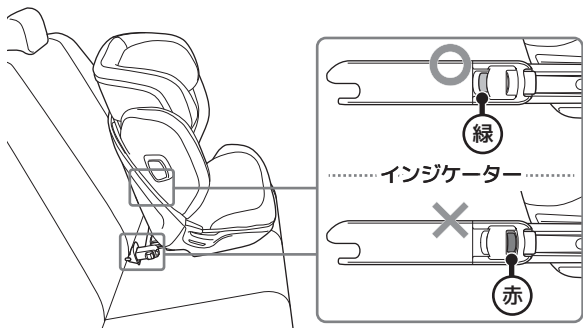
座席の生地によっては、摩擦により ISOFIX コネクターが本体側に押し戻されることがあります。

その場合 ISOFIX コネクターを持つなどして、ISOFIX コネクターを少し浮かせた状態にして差し込んでください。

## 05

左右の ISOFIX コネクターのインジケーターが両方とも完全に緑色になっていることを確認してください。どちらか一方でも赤色の状態では、本製品が正しく固定されていません。

左右の ISOFIX コネク터를それぞれ手前に引いてみて、ISOFIX コネクターが抜けたり、インジケーターが赤色になったりしないことを確認してください。



確実に左右の ISOFIX コネク터를固定してください。左右の ISOFIX コネクターが確実に ISOFIX 固定装置に取り付けられていないと、事故や衝撃を受けた際に、本製品が自動車の座席から外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

**⚠危険** ISOFIX コネクターの左右のインジケーターのいずれか一方でも緑色になっていない場合、本製品は正しく取り付けられていない状態ですので、固定時に左右とも「カチッ」と音がして、かつ、左右両方のインジケーターが緑色になるよう取り付けなおしてください。

## 06

① ISOFIX アジャストレバーを手前に引いて、②本製品を自動車の座席の背もたれ側に押しつけます。押しつけられるだけ押し込んでください。

### ポイント

ヘッドサポートが、座席の背もたれにあたってそれ以上押しつけられない場合は、いったんバックレストの角度を立ててから押しつけなおしてください。



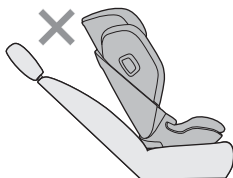
## 07

座席の背もたれの角度に合わせて、バックサポートの角度を調節してください。または、座席にリクライニング機構が装備されている場合は、バックサポートの角度に合わせて自動車の座席のリクライニングを調節してください。バックサポートが座席の背もたれに接するようにして使用します。

参照 P29 >  
バックサポートの角度調節



**警告** バックサポートと自動車の座席の背もたれは、同じ角度になるように調節してください。角度が離れていると、事故や衝撃の際に、バックサポートが座席の背もたれ側に倒れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

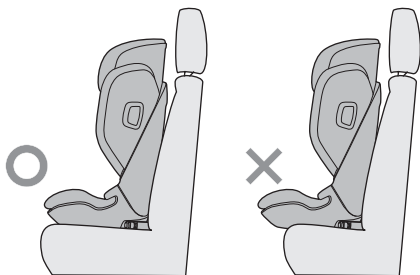




バックレストと自動車背もたれの角度を適切に調節して、本製品を固定した後で、自動車の背もたれ角度を操作しないでください。自動車の背もたれ角度を操作した場合は、その都度バックレストの角度も調節しなおしてください。

**⚠ 警告** 本製品を取り付けた際に本製品の座面の先端部が、自動車の座席の前端部より前にはみ出す場合は、シートスライド機構を使用してシートを後方にスライドさせてみてください。シートを後方にスライドしても、本製品の座面の先端部が自動車の座席の前端部より前にはみ出す場合は、その座席では使用しないでください。

参照 P30-31 >シートスライド機構



### 3 点式シートベルトのみの場合

ISOFIX 固定装置のない座席で使用する場合に、本製品は3点式シートベルトのみで使用することもできます。

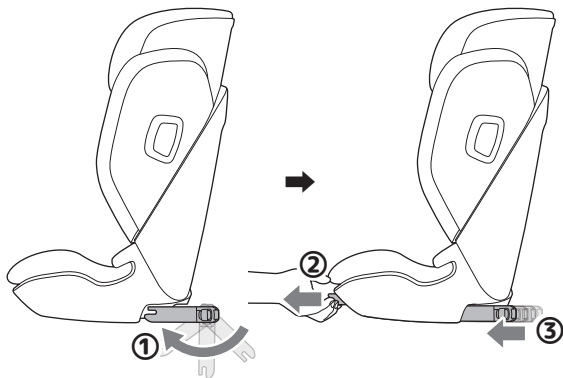
この場合、本製品を自動車の座席に取り付け、固定する操作はありません。お子さまが使用しない場合、本製品は座席に固定されていませんので、使用しない場合、本製品を適切な方法で車内に固定するか、または、車外に本製品を出しておく必要があります。

#### 💡ポイント

より安全のため、やむを得ない場合を除いて、ISOFIX による固定を強くお勧めします。

## 01

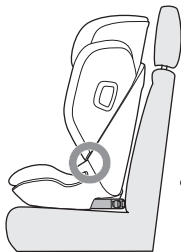
ISOFIX アンカーが外側を向いている場合は、① ISOFIX アンカーを回転させて内向きにして、ISOFIX アンカーが引き出されている場合は、② ISOFIX アジャストレバーを手前引いて、③ ISOFIX アンカーを本体側に戻しておきます。最後までしっかりと戻してください。



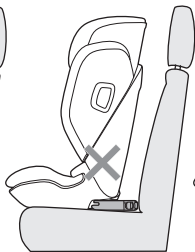
確実に ISOFIX アンカーを内向きにして、本体側に戻しておいてください。ISOFIX アンカーが外向きになっていたり、ISOFIX アンカーが引き出されていると、バックサポートと座席の背もたれの間が必要以上の空間が生じてしまい本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。



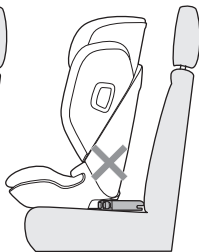
**危険**



正しい



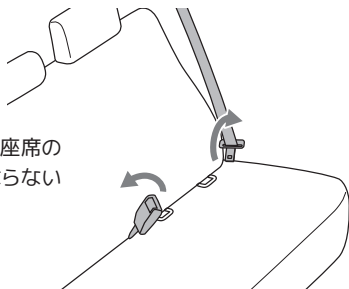
ISOFIX アンカーが  
引き出されている



ISOFIX アンカーが  
外を向いている

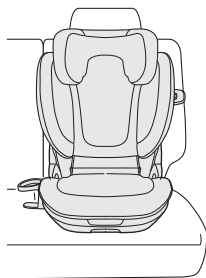
## 02

本製品を設置して使用する座席のシートベルトを、邪魔にならないようにしておきます。



## 03

座席の左右中央に本製品を置きます。



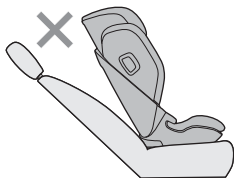
## 04

座席の背もたれの角度に合わせて、バックサポートの角度を調節してください。または、座席にリクライニング機構が装備されている場合は、バックサポートの角度に合わせて自動車の座席のリクライニングを調節してください。

バックサポートが座席の背もたれに接するようにして使用します。



バックサポートと自動車の座席の背もたれは、同じ角度になるように調節してください。角度が離れていると、事故や衝撃の際に、バックサポートが座席の背もたれ側に倒れて思わぬ事故につながるおそれがあります。



## 05

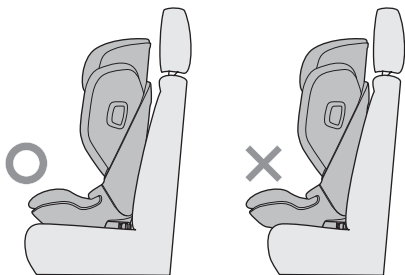
本製品を、座席の背もたれ側に押し付けます。バックレストが背もたれに接するようにしてください。これでお子さまを乗せる準備は完了です。



バックレストと自動車背もたれの角度を適切に調節して、本製品を固定した後で、自動車の背もたれ角度を操作しないでください。自動車の背もたれ角度を操作した場合は、その都度バックレストの角度も調節しなおしてください。

**⚠ 警告** 本製品を取り付けた際に本製品の座面の先端部が、自動車の座席の前端部より前にはみ出す場合は、シートスライド機構を使用してシートを後方にスライドさせてみてください。シートを後方にスライドしても、本製品の座面の先端部が自動車の座席の前端部より前にはみ出す場合は、その座席では使用しないでください。

参照 P30-31 >シートスライド機構



## お子さまの乗せかた

お子さまを本製品に乗せて、シートベルトを装着します。

**⚠ 危険** シートベルトバックルが本製品の使用に適さない場合は使用しないでください。シートベルトバックルが長すぎたり、シートベルトバックルの位置が前方すぎる場合、本製品が安定せず、安全に機能しないおそれがあります。そのような座席では使用しないでください。

### 💡ポイント

以下は、右ハンドル車の助手席後ろの後部座席（向かって右側に自動車肩ベルトの取り出し口、左側に自動車ベルトバックルがある）の状態での説明です。他の座席でも基本的な操作方法は同じですが、左右が逆になる場合があります。

## 01

本製品が座席の左右の中央に位置していて、かつバックサポートが座席の背もたれに押し付けられていることを確認してください。

## 02

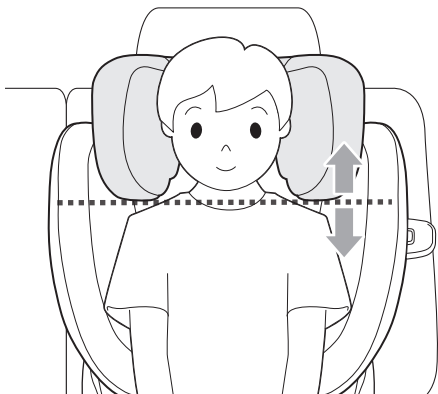
お子さまの背筋を伸ばし、楽な姿勢にして本製品に座らせます。腰を深くして、本製品の中央に座らせてください。



## 03

ヘッドサポートの高さを調節して、ヘッドサポートの下端がお子さまの肩の高さと同じ高さになるようにします。

参照 P27-29 >ヘッドサポートの高さ調節



シートベルトを装着してから、もう一度ヘッドサポートの高さを  
♀ポイント 確認します。シートベルト装着時、ヘッドサポートの下端とお子  
さまの肩が同じ高さになっていれば正しい状態です。

## 04

シートベルトをねじらないように注意して、①シートベルトバックル側のアームレスト下の腰ベルトガイド（緑色マークの部分）に肩ベルトと腰ベルトを通し、②自動車のドア側のアームレスト下の腰ベルトガイドに腰ベルトを通して、③バックルを留めます。

📍ポイント  
腰ベルトガイドは、アームレスト下側の緑色マークがある部分です。



3点式シートベルトのみで使用する場合は、本製品の設置位置（前後左右）が正しいことを確認してください。

設置位置が正しくない場合、シートベルトを正しく装着できず、本製品が安全に機能しないおそれがあります。

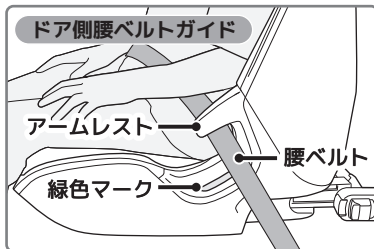
## 05

以下のチェック (Check!) を参照して、中央席側、ドア側がそれぞれ正しい状態になっている事を確認してください。

### Check!



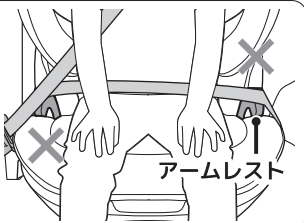
- シートベルトにねじれがないこと。
- 肩ベルト、腰ベルトの両方が腰ベルトガイド部を通っていること。
- バックルが確実に留まっていること。



- シートベルトにねじれがないこと。
- 腰ベルトが腰ベルトガイド部を通っていること。

### ⚠危険

シートベルトは、腰ベルトガイド部を通してください。腰ベルトガイドは、アームレストの下側、緑色マークが目印です。大変危険ですので、アームレストの上など、腰ベルトガイド部以外の場所にシートベルトを通さないでください。





## 06

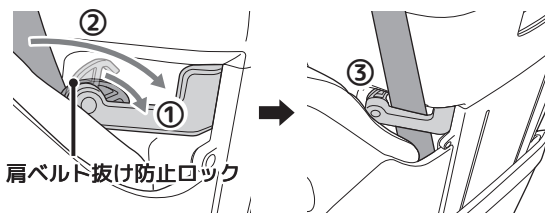
肩ベルトを、ヘッドサポートとバックレストの隙間を通して、自動車のドア側の肩ベルトガイドに通します。

①肩ベルトガイドの肩ベルト抜け防止ロックを倒し（自動的に元に戻ります）肩ベルトを差し入れて、②ガイドに沿って通してください。肩ベルトをねじらないように注意してください。

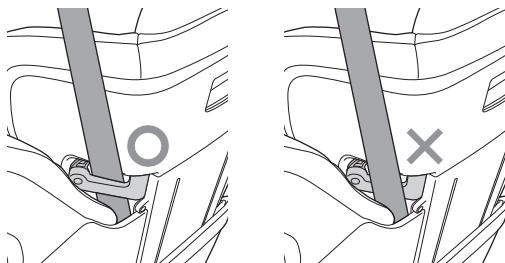
③肩ベルト抜け防止ロックが戻り、肩ベルトが下図のような状態になっていることを確認してください。

### ♀ポイント

わかりやすくするため、図はヘッドサポートを上げて、お子さまが乗っていない状態で背面から見た状態を表記しています。



事故や衝撃を受けた際に、本製品が所定の安全性能を発揮でき  
⚠️**危険** なくなくなりますので、肩ベルトを、肩ベルトガイドの下側を通したり、  
肩ベルトガイド以外の場所を通したりしないでください。



## 07

肩ベルトの高さが適切になっているか確認します。ヘッドサポートの下端がお子さまの肩と水平になる位置に調節してください。

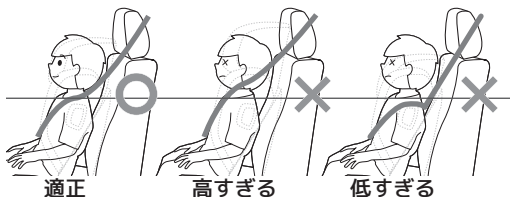
高すぎたり、低すぎたりする場合は、ヘッドサポートの高さを調節して適切な高さに調節します。



参照 P27-29 >ヘッドサポートの高さ調節

### ⚠危険

肩ベルトは、お子さまの肩と同じ適正な高さに調節します。肩ベルトの位置が高すぎたり、低すぎたりすると、お子さまが本製品から飛び出したりするなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。



## 08

肩ベルトが、左右で正しい位置を通るようにしてください。正しい位置より外側、内側を通っている場合、お子さまの座る位置や本製品を左右に動かして正しい位置にします。**肩ベルトは、正しい高さで、正しい位置を通るようにしてください。**



肩ベルトは、必ず正しい位置を通してください。肩ベルトが、正しい位置よりもお子さまの首側（内側）にあると事故や衝撃を受けた際に肩ベルトがお子さまの首を圧迫し大変危険です。正しい位置よりも外側の場合、事故や衝撃を受けた際にお子さまが肩ベルトからすり抜けて飛び出るおそれがあります。

### ⚠️ 危険

肩ベルトがお子さまの顔、頭部、首に掛かっている場合はそのまま使用せず、ヘッドサポートの高さの調節や、本製品の位置を左右に微調整するなどして肩ベルトが正しい高さ、正しい位置になるようにして使用してください。

## 09

①腰ベルトの位置を調節して、お子さまの骨盤の上に腰ベルトが通るようにします。②肩ベルトを引いてシートベルトにたるみがないようにします。

### ⚠️ 警告

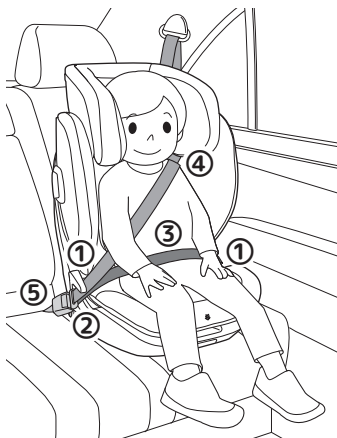
事故や急制動などの際に衝撃を骨盤で受けられるよう、腰ベルトをお子さまの骨盤の上を通すようにしてください。骨盤の上を通っていないと、内臓の損傷、骨折にいたる危険性が高まります。



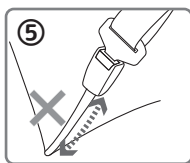
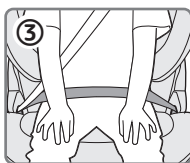
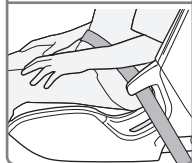
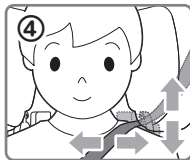
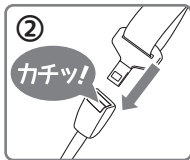
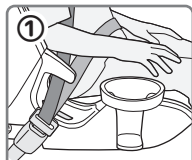
## 10

最後に、もう一度以下のチェック(Check!)を参照して、確認してください。

適切でない部分があれば、本書の指示に従い適切な状態に修正してから使用してください。



### Check!



① 中央席側の腰ベルトガイドに、肩ベルトと腰ベルトが通っていること。

ドア側の腰ベルトガイドに、腰ベルトが通っていること。

② シートベルトバックルにシートベルトタングが確実に留まっていること。

③ 腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること。

腰ベルトにねじれ、たるみがないこと。

④ 肩ベルトの高さが適切になっていること。

肩ベルトの位置(左右)が適切な状態に調節されていること。

肩ベルトにねじれ、たるみがないこと。

- ⑤ シートベルトバックルのベルトが長すぎる（または位置が高すぎる）場合、腰ベルトガイドにシートベルトバックルが干渉するため、その座席では使用しないでください。

## 11

お子さまにバックルに手を触れないよう言い聞かせてご使用ください。

お子さまがバックルに手を触れ、バックルを外してしまうおそれがあります。

### ⚠ 警告

お子さまがシートバックルに手を触れてバックルを外してしまったり、シートベルトから抜け出そうとしたりするおそれがあります。常日頃から、シートバックルには手を触れないよう、シートベルトを正しく装着しておくよう言い聞かせるようにして、本製品の使用中は適宜安全の確認をするようにしてください。

お子さまが自分で乗り降りできるようになってからも、大人の監視のもとで乗り降りさせるようにしてください。

### ポイント

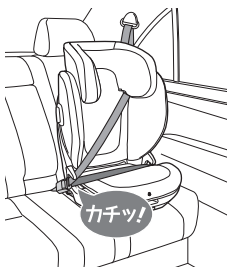
お子さまは大人と違い、成長が早く体型も日々変化します。お子さまを乗せ降ろすたびに、肩ベルト（ヘッドレスト）の高さが適切かどうか確認するようにして、必要に応じて調節するようにしてください。

カップホルダーに飲み物などを入れて使用している場合、乗り降りの際に、お子さまがあたるなどして内容物がこぼれるおそれがありますので、カップホルダーに注意して乗り降りさせてください。

## 12

お子さまを降ろす場合、シートベルトのバックルを外してお子さまを降ろしてください。

3点式シートベルトのみで使用している場合は、お子さまを降ろした状態では本製品は固定されていません。本製品を車外に出してトランクに収納するなどしておくか、または、シートベルトで本製品を固定しておいてください。



# お手入れのしかた

本製品では、お手入れのためカバー類を取り外すことができます。お手入れ後は、取り外したカバーを必ず元に戻してください。

## ⚠危険

カバー類、パッド類を取り外して使用すると、本製品が所定の安全性能を発揮できません。本取扱説明書で別段の指示がない限り、本製品の部品を取り外した状態で使用しないでください。カバー類、パッド類、衝撃吸収材も安全に関わる重要な部品です。決して取り外して使用しないでください。また同様に、本製品に縫い付け、または貼られているラベルやシールも本製品の適合する安全基準で規定されている重要な部品ですので、決してはがさないでください。

## ⚠警告

お子さまが本製品の機構部に手や指を差し入れてケガをすることがありますので、お手入れ等のため、カバーを外したら、取り付け直すまでの間、本製品はお子さまの手の届かない場所で保管するようにしてください。またカバーはお子さまの手の届かない場所でお手入れしてください。

## ⚠注意

カバーの取り付け、取り外しは、慎重に作業してください。カバーが引っかかった感じがする場合、無理をせず、引っかかった場所がないかを確認するようにしてください。本製品に取り付けてある、EPP/EPS フォーム等の衝撃吸収材に傷をつけないように注意してください。

## カバー・パネルの取り外し

### 01

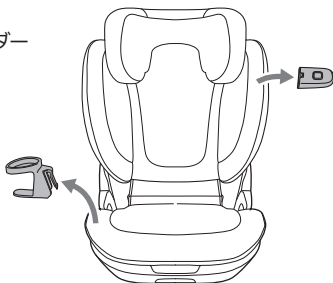
あらかじめ、SIP とカップホルダーを取り外しておきます。

参照

P33 > サイドインパクト  
プロテクションボッド > 02

参照

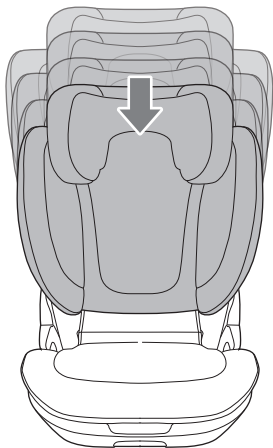
P33 > カップホルダー



## 02

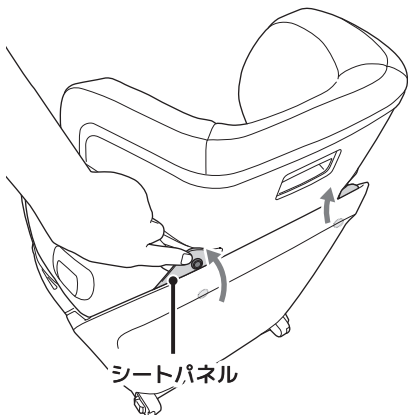
ヘッドサポートを一番低い位置に調節します。

参照 P27-29 >ヘッドサポートの高さ調節



## 03

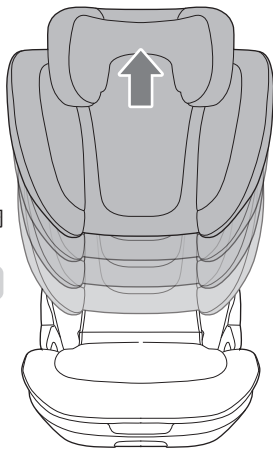
バックサポート上端左右で、シートパネルを留めているホックボタンを外しておきます。左右とも外しておいてください。



## 04

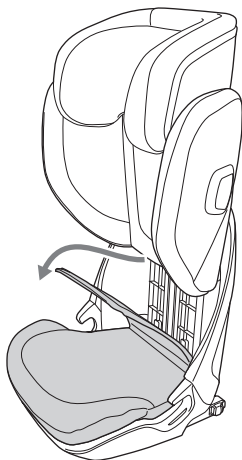
ヘッドサポートを一番高い位置に調節します。

参照 P27-29 >ヘッドサポートの高さ調節



## 05

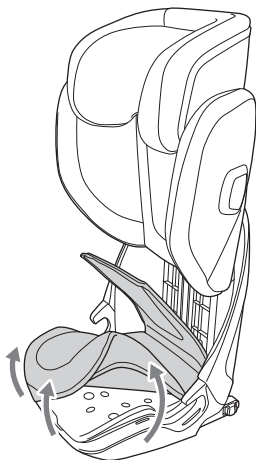
座面部の背もたれを前方に倒しておきます。





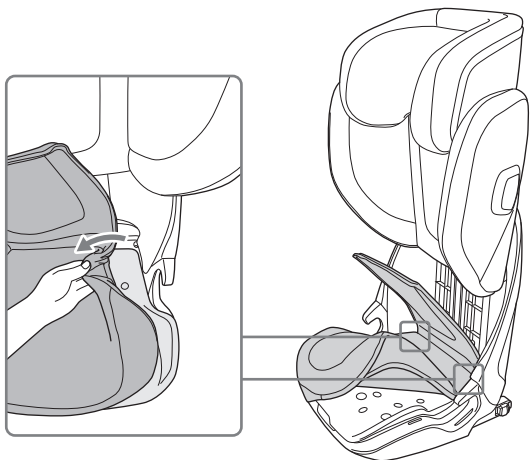
## 06

座面部外周に掛けられているカバーを外します。



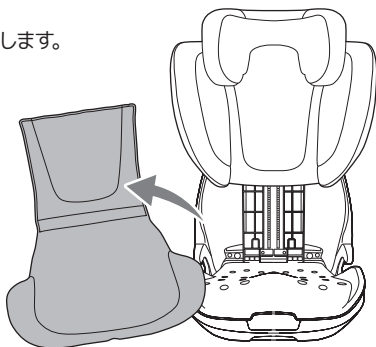
## 07

座面部の背もたれ側の左右の角に掛けられているカバーを外します。左右とも外してください。



## 08

座面部のカバーを取り外します。

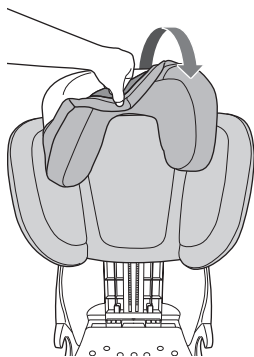


## 09

ヘッドサポート上部に掛けられているカバーを外します。ヘッドサポートに取り付けられている白い EPP フォームを傷つけないように注意してください。

### ♀ポイント

カバーの生地をつまんで少し引き上げながら前方に脱がせるようにしてカバーを取り外します。

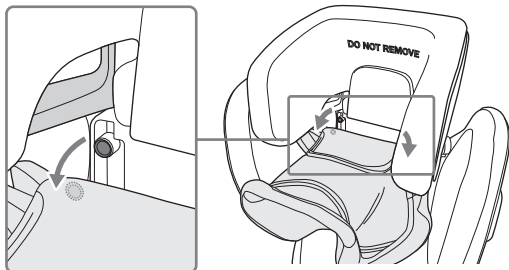


### ⚠危険

ヘッドサポートの衝撃吸収材 (EPP フォーム) は取り外しできませんので、取り外そうとしないでください。また、カバーの着脱時には、EPP フォームに傷を付けないようにご注意ください。

## 10

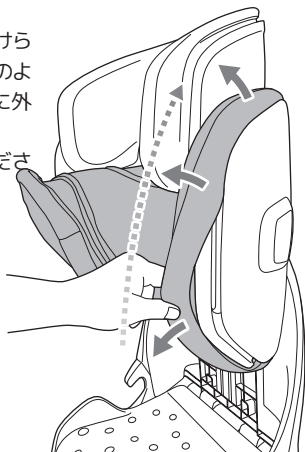
ヘッドサポート下部（左右の肩ベルトガイドの下）で留められているカバーのホックボタンを外します。左右とも外してください。



## 11

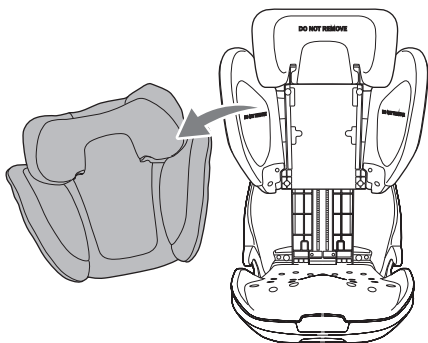
バックサポートの左右側面に掛けられているカバーを外します。下図のように、下側から上に向かって順に外します。

左右とも同じようにして外してください。



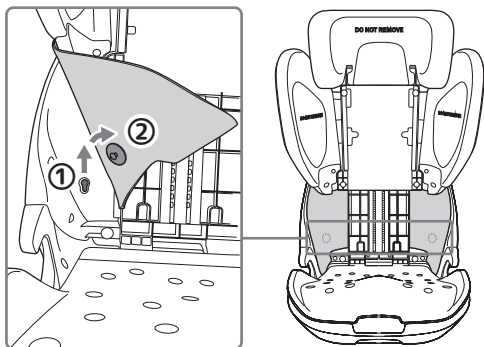
## 12

ヘッドサポート・バックサポートのカバーを取り外します。



## 13

03でホックボタンを外した左右のパネルを取り外します。パネルは本体の鍵穴部にフックを差し込んで留めてあります。①パネルを少し上方向に引き上げて、②鍵穴部からフックを取り外します。左右のパネルとも同じようにしてください。



## 14

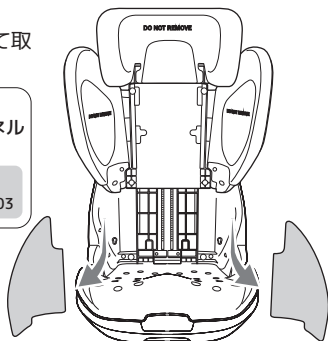
左右のパネルを下方向に抜いて取り外します。

### ⚠️ポイント

03 の操作をしていないと、パネルは取り外しできません。

### 参照

P55 >カバー・パネルの取り外し> 03



## 15

カバー、パネルの取り付けは、取り外しの逆の手順で行ってください。

## カバー・パネルのお手入れ

### 01

以下を参照してお手入れしてください。カバー類、パネルは、よく乾かしてから取り付けしてください。

### ⚠️ポイント

取り外したカバー類、パネルは洗濯機で洗うことができますが、本製品のすべてのカバー類、パネルには樹脂製のプレートが内蔵されていますので、ご注意ください。

汚れがひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合、水でよくすすぎ、洗剤を完全に落としてください。

### ⚠️注意

指定外の方法で洗濯しないでください。指定外の方法でカバー類、パネルをお手入れすると、破損や破れ、変形、型崩れ、縮みの原因になります。

① **液温 30°を限度に、洗濯機で洗うことができます（手洗いを勧めます）**

洗濯機の容量や機種によっては、脱水機能使用時に、重量の偏りにより洗濯機が故障するおそれがあります。脱水時に偏りが発生した場合などは、30°以下の水温で手洗いしてください。

また、カバー類、パネルには樹脂製のプレートが内蔵されています。変形するおそれがありますので、プレート内蔵部に力が掛からないようご注意ください。

② **漂白剤は使用しないでください**

劣化を早め、変退色、破損の原因となりますので、塩素系、酸素系の漂白剤は使用しないでください。

③ **タンブラー乾燥をしないでください**

破損、損傷、縮みの原因となりますので、タンブラー乾燥（乾燥機）は使用しないでください。

④ **陰干し、つり干ししてください。**

型崩れしないよう注意して、軽く絞った上でしっかりと開いて日陰で干してください。

⑤ **アイロンは使用しないでください**

破損、縮み、溶けの原因となります。

⑥ **ドライクリーニングしないでください**

変色、破損、縮みの原因となります。商業クリーニング、ドライクリーニングは避けてください。

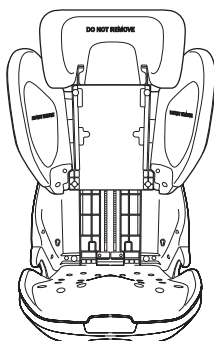


**注意**

原液の中性洗剤、有機溶剤を使用しないでください。  
未希釈の中性洗剤、ガソリン、灯油、シンナーなどの使用は変質、溶解、破損、損傷の原因となります。

型崩れ、変形の原因となりますので、きつく絞らないでください。

## 本体部のお手入れ



### ⚠ 危険

お手入れ、メンテナンス時にシリコンオイル、グリース、ミシン油などの潤滑剤を絶対に使用しないでください。潤滑剤が付着すると本製品が変質、破損したり、安全に機能しなくなったりするおそれがあります。

## 樹脂部分・衝撃吸収材

### 01

表面部の汚れは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。衝撃吸収材（EPP / EPS フォーム）は特にやさしくお手入れしてください。

洗剤類は使用しないでください。内部や、手の届かない場所のお手入れは、市販のエアダスターを使用するか、掃除機を使用してゴミやほこりを吸い取るようにしてください。

### ⚠ 注意

洗剤類、市販のウェットタオル（ウェットティッシュ）、赤ちゃんのお尻ふき、などは使用しないでください。含まれる成分によって、樹脂や衝撃吸収材に劣化、変質、溶解などの影響を与えるおそれがあります。

## 金属部分

### 01

金属部分は、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。

食べかすなど油分を含む汚れを落とす場合には、薄めた中性洗剤を溶かした水につけ、良く絞った柔らかいタオルで汚れをふき取るようにしてお手入れしてください。中性洗剤を使用した場合、お手入れ後は洗剤をよくふき取ってください。

#### ⚠危険

サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので水を直接かけないでください。

水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

## ISOFIX コネクター

ISOFIX コネクター、自動車の ISOFIX 固定装置は常に清潔を保つようにしてください。

### 01

表面の汚れは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。内部や、手の届かない場所のお手入れは、市販のエアダスター、ブロワーを使用するか、掃除機を使用してゴミやほこりを吸い取るようにしてください。

サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので水を直接かけないでください。

水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

#### ⚠危険

潤滑剤など潤滑成分が含まれたお手入れ用品を絶対に使用しないでください。お手入れ、メンテナンス時にはシリコンオイル、グリース、マシン油などの潤滑剤や、その他潤滑性のある物質を含む洗剤等を絶対に使用しないでください。潤滑剤に限らず潤滑性のある物質が付着すると ISOFIX による固定に影響を与え思わぬ事故につながるおそれがあります。



## 除菌・抗ウイルス製品の使用にあたっての注意

---

除菌、抗ウイルスのスプレー、ミスト、ジェル等の製品には、本製品の縫製品、樹脂、金属に影響を与える成分が含まれている可能性があります。本製品に対する使用にあたっては、あらかじめこれらの製品のメーカーにお問い合わせの上、影響の有無に付きご確認ください。

## 保管のしかた

本製品では、お手入れのためカバー類を取り外すことができます。お手入れ後は、取り外したカバーを必ず元に戻してください。

長期間ご使用にならない場合は、座席から取り外して自動車から出しておいてください。

---

直射日光の当たらない、寒暖差の激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。

---

雨風のあたる場所、露天では保管しないでください。

## 廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示しシートを破るなどして、再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。

# 保証書

保証期間	お買い上げ日より1年間	製品名	nuna エースラックス
お買い上げ日			
お客様	ご住所 〒 -	お買い上げ 販売店名	店名 住所
	お名前 電話番号 - -		電話番号

本製品の保証は、規定の内容に従いお買い上げ日から1年間有効となります。お買い上げ日やお買い上げいただいた販売店名が不明の場合保証の対象となりませんので、お買い上げいただいた際のレシートや領収書等を本取扱説明書と一緒に保管するようにしてください。

1. 保証期間中に正常な使用状態において、万一故障が発生した場合には無償で修理いたします。ただし、ご購入時の初期不良の場合を除いて、修理に要する送料はお客様にご負担いただきます。
2. 保証期間内であっても次のような場合には、有償での修理となります。
  - ・ 本保証書原本の提示がない場合（コピーされた保証書は無効です）および記入事項の字句に書き換えが認められる場合
  - ・ お客様のご購入を証明することができない場合
  - ・ 本取扱説明書および製品本体に表記されている指示内容に従わなかったために生じた、故障、破損、不良の場合
  - ・ 正常な使用、お手入れにより生じた傷や汚損、破損、日焼けによる表面の劣化、シートカバー類等縫製品のほつれの場合

3. ・ 部品の紛失の場合

次のような場合には、安全のため、保証期間、有償、無償に関わらず修理することができません。

- ・ 事故や落下などの強い衝撃を受けたことにより生じた故障、破損、汚損の場合
- ・ 誤使用、または改造、不当な分解によって発生した故障、破損、汚損の場合
- ・ 本保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記載のない場合
- ・ 並行輸入品や海外で購入された製品の場合
- ・ 業務用、レンタル等、一般家庭外で使用されている場合
- ・ 中古品の場合
- ・ 本製品に貼り付けられているシール類がはがされている場合
- 4. ・ 本製品の製造が終了し、修理に必要な部品が無い場合
- 5. 本製品を正しく使用することにより生じた、自動車の座席表面やシートベルトの傷、取り付けあと等は保証いたしかねます。
- 6. 一度でもご使用になった製品のお取り換えはできません。

保証は日本国内においてのみ有効です。

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※製品は万全を期して製造しておりますが、万一不都合な点がございましたら弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

※性能向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

※本書に記載いただいた個人情報につきましては、個人情報保護法の規定を準拠し、本保証に関わる範囲においてのみ使用いたします。

**(本製品に関するお問い合わせ先)**

株式会社トージ お客様サービス

電話：0568-67-5701 平日10~17時（土日祝日を除く）

[www.katoji.co.jp](http://www.katoji.co.jp)

**(Joie日本総代理店)**

株式会社トージ 〒484-0894 愛知県犬山市羽黒北金屋39-2

レシート等を貼り付けてください



*Find out more at* **nunababy.com**